

令和8年度 高校総体壮行式 校長激励

陸上競技、サッカー、水泳は先行開催されましたが、「笑顔と涙 全力の証が ここにある」のスローガンのもと、いよいよ明日から高校総体が幕を開けます。また、硬式野球部においては、全国高等学校野球選手権青森大会が7月から始まり、競技かるた部においては、全国高総文祭、東北北海道高等学校小倉百人一首かるた選手権大会及び全国高等学校選手権大会に出場します。そして、県大会を勝ち上がった、陸上競技部10名と、水泳部3名が東北大会に出場します。

厳しい練習に耐え抜き、本校の代表として晴れの舞台に立つ選手の皆さん、まずは、これまで努力を積み重ねてきたことに、心から敬意を表します。

また、高校総体の裏で、6月6日には吹奏楽部が定期演奏会を開催します。高校総体に出場する選手同様、吹奏楽部の皆さんにも、自分たちのために最高のパフォーマンスをしてくれることを、楽しみにしています。

さて、各大会を前にした皆さんに、私から伝えておきたいことがあります。それは、「勝ち負けにこだわる必要は一切ない」ということです。そしてもう一つ、「学校の看板や名誉のために戦う必要もない、そんなものは考えなくていい」ということです。「校長、何を言うんだ」と思う人がいるかもしれません。しかし、これが私の本音です。スポーツというものは、勝敗の先にある「人間のドラマ」だからこそ、私たちの心を、激しく揺さぶります。

日本のスポーツ史には、様々なドラマチックな出来事がありました。今から30年以上前の1993年、サッカー日本代表が、あと一步でワールドカップを逃した「ドーハの悲劇」。しかし、彼らはそこから這い上がり、4年後の1997年には「ジョホールバルの歓喜」と呼ばれる、歴

史的勝利を挙げて、1998年フランス大会の、悲願の初出場を掴み取りました。

また、2015年のラグビーワールドカップ。日本代表が、世界最強の一角である南アフリカ代表を打ち破ったあの奇跡の勝利。世界中が「絶対に勝てっこない」と思っていた下馬評を覆し、彼らは歴史を変えました。

さらに記憶に新しい、バスケットボール2023年ワールドカップの、男子代表。彼らはその4年前の大会で5戦全敗という深い屈辱を味わいました。周囲からは厳しい声もありましたが、彼らは、「周りはどう思うかは関係ない。自分たちがやってきたことを信じて、自分たちのパフォーマンスを100%やるだけだ」という強い信念を貫き、見事な大逆転劇を演じて2024年パリオリンピックの切符を自力で掴み取りました。

これらの瞬間、私たちが感動したのは、彼らがただ「勝ったから」あるいは「負けたから」だけではありません。

絶望から立ち上がろうとする凄まじい執念、

周囲の声を黙らせるほどの圧倒的なひたむきさ、

自分たちの可能性を1ミリも疑わない純粹な闘志

そうした、選手たちの「魂のパフォーマンス」が、画面越しに伝わってきたからこそ私たちは涙を流し、今もなお、語り継がれているのです。

「勝敗」の先にある、本当の価値、皆さんに求めたいのは、まさにこれです。ですから、学校のために汗を流す必要はありません。誰かの期待に応えようと、自分を縛り付ける必要もありません。各大会は、他の誰でもない「皆さん自身の舞台」です。

これまでの苦しい練習、悔し涙、仲間と分かち合った笑顔。そのすべては、今大会で「自分自身が100%満足できるパフォーマンスをするため」にありました。そして、ここからが一番大切なことです。結果が「勝ち」であろうと「負け」であろうと、全力を尽くした先には、必ず

皆さんの心に「一生モノの何か」が残ります。思い通りにいって自信を得ることもあれば、壁にぶつかって己の弱さを知ることもあるでしょう。そのすべてが、皆さんのこれからの人生にとって、かけがえのない財産になります。

3年生の一部の生徒は、大会が終われば、それぞれの「進路」や「次の目標」に向かって歩みを進めることになるでしょう。だからこそ皆さんには、競技で学び、何かを得て、自分の進路を切り拓く力に変えるために、それぞれの大会に臨んで欲しい。それこそが、この大会に挑戦する本当の価値だと私は信じています。

さて、顧問の先生方、日頃の熱心なご指導と大会への引率、心から感謝いたします。選手たちが持てる力を100%発揮できるよう、コーチや保護者の皆さまとともに、最後の最後まで万全のサポートをお願いいたします。生徒と一体となり、文字通り「ワンチーム」となって、それぞれの大会に臨んでくださることを期待しています。

最後にもう一度、選手の皆さんに言います。自分のために頑張りなさい。自分のために最高のパフォーマンスをしてきなさい。勝って奢らず、負けて腐らず。皆さんが、自分自身に誇れる最高の輝きを放ち、一回りも二回りも大きくなって帰ってくることを、強く期待しています。